

「学習と部活動の両立」に取り組む、大村高校の様子をお知らせします。



大高インフォメーション

# ホップステップ JUMP!

〒856-0835 長崎県立大村高等学校 大村市久原1-591 TEL.0957(52)2660

<http://www.news.ed.jp/omura-h/>

保護者の方へ

メールアドレスにご加入ください。



## 祝卒業

### 情熱をもって



長崎県立大村高等学校  
校長 原 昌 紀

私は、情熱と言う言葉が好きです。人間にとって大事な能力はたくさんあるが、情熱もその一つであり、いつの時代も情熱を持っている人が世の中を動かしていると思うからです。情熱に年齢は関係ありません。私自身、年をとっても情熱は大事にしなければならぬと思っています。けれども、若いときの情熱は格別であり、十代から二十代に何か夢中になった人は、一生情熱を持ち続けることができると思います。情熱の対象と出逢うきっかけは様々な、小さい頃は、自分で見つけるというのは稀です。親に勧められたり、仲間と一緒にやったりしているうちに好奇心が湧いてきて、もっとやってみたい、もっと知りたいと周囲の手を借りずに自ら打ち込むようになる、そして情熱の根柢が揺り動かされていくのです。

以前、超一流のアスリートに対し、若い時は勝っていたけれども、現在は全く違う道を歩んでいる、そういう人たちに密着取材をするテレビ番組がありました。なぜ彼らは高い才能を持っているながら、その後超一流アスリートにな

らなかったのか、あるいはなれなかったのか、タイミングや運が悪かったとか怪我をしてしまったとか、様々な要因はあるでしょうが、番組を見ていて、多くはそのものに対する情熱の差が人生の分かれ目になっていたように思います。

何の世界であれ、社会に出れば、結果や実績を問われます。その道のプロになるためには、他の人が経験したことがないくらい努力して、苦しみも人一倍味わい、その中から突破口を見出し、乗り越えた先に本当の楽しみがあるのだと思います。大リーグで活躍したイチロー選手が引退会見で、次のような言葉で締めくくりました。

「辛いこと、しんどいことから逃げたいというのは当然のことなんですけど、でもエネルギーのある元気のある時にそれに立ち向かっていく。そのことはさすが人として重要なことではないかと感じています」

情熱溢れる高校時代に夢や目標に向かって注がれる情熱や失敗や困難に立ち向かっていくエネルギーは、その年齢でなければ注ぐことができないものです。「両道不岐」を校是とする大村高校。その中で皆さんは、志を育み、情熱をもって物事に打ち込んでくれることを期待します。

# 卒業生表彰

## 生徒会活動功労賞

### 優良生徒表彰

- 優良卒業生児童生徒表彰  
毛利 仁吾 (3-7 郡中卒)
- 優良体育卒業生表彰  
河内 祥吾 (3-7 陸上部 郡中卒)
- 優良文通卒業生表彰  
永井 剛利 (3-5 放送部 小野中卒)
- 優良生徒表彰  
本村かんな (3-1 理科部 西大村中卒)  
出口 優芽 (3-7 吹奏楽部 大村中卒)
- 優良教育委員会表彰  
学校文化活動等表彰 大村高等学校 理科部

- ソフトテニス部 (5名)
- 吉次 莉沙 (3-5 筑島中卒)
  - 松尾 咲綺 (3-8 東長崎中卒)
  - 永瀬友菜加 (3-7 越前中卒)
  - 濱清 愛夢 (3-8 桜が原中卒)
  - 前田 綾乃 (3-8 国見中卒)
- 演劇部 (9名)
- 阪部 偉大 (3-4 西大村中卒)
  - 斎野 太貴 (3-4 西大村中卒)
  - 大塚 匠 (3-7 西大村中卒)
  - 藤本 歩聖 (3-1 桜が原中卒)
  - 寺尾 茂吾 (3-2 大村中卒)
  - 金崎雅莉菜 (3-5 郡中卒)
  - 泉原 望 (3-8 西大村中卒)

- 中島みのり (3-8 明峰中卒)
- 西村ひなた (3-8 桜が原中卒)
- 陸上部 (1名)
- 河内 祥吾 (3-7 郡中卒)
- 放送部 (1名)
- 永井 剛利 (3-5 小野中卒)
- 吹奏楽部 (1名)
- 出口 優芽 (3-7 大村中卒)
- 理科部 (2名)
- 本村かんな (3-1 西大村中卒)
- 河野 正章 (3-4 大村中卒)
- 文芸部 (2名)
- 本村 奈々 (3-5 大村中卒)
- 福本 栄輝 (3-7 郡中卒)

- 生徒会 (4名)
- 毛利 仁吾 (3-7 郡中卒)
  - 村上 紗奈 (3-3 西大村中卒)
  - 久保 優奈 (3-4 明峰中卒)
  - 佐沖 優菜 (3-8 明峰中卒)

## 部活動結果

### 漕艇

- 令和3年度第63回大分県団体開催記念第12回ウィンターカップ選手権大会
- (男子シングルスカル) C決勝1位 (全体13位) 荒木 透也 (2-6)  
3位 (全体15位) 島原 歩 (2-3)  
D決勝2位 (全体20位) 酒造政大 剛 (1-2)  
E決勝3位 (全体27位) 中野 勉介 (2-5)

- (女子シングルスカル) A決勝6位 (全体6位) 尾上 享哉 (2-8)  
B決勝2位 (全体8位) 大澤 蒼蒼 (2-6)  
D決勝1位 (全体19位) 深澤 守斗 (1-6)  
E決勝3位 (全体24位) 樋口 珠慶 (1-6)

### ソフトテニス

- 九州新人体育大会  
(団体) 2位リーグ 2位  
(個人) 石原 (2-6)・狩野 (1-6) 編 4回戦敗退  
小林 (1-2)・島根 (2-6) 編 3回戦敗退

### ハンドボール

- 令和3年度第2回みやぎ整骨院杯  
長崎県高等学校男女ハンドボール選手権大会  
大村 10-20 佐世保西 負  
大村 20-19 青雲 勝

### ラグビー

- 令和3年度長崎県高等学校新人体育大会ラグビー競技中地区大会  
(12月12日(日)) 島原連合 0-14 長崎西・鶴 洋 負  
島原連合 14-7 諫 早・長崎東 勝  
(12月19日(日)) 島原連合 14-0 諫 早・長崎東 勝  
島原連合 14-14 佐世保連合 引者分け  
(12月25日(土)) 島原連合 21-14 諫 早・長崎東 勝  
(12月28日(火)) 島原連合 不戦勝 長崎工業 勝  
4勝1敗1分け

### テニス男子

- 令和3年度長崎県高等学校冬季テニス選手権大会  
(ダブルス)  
大石 真 (2-2)・小野 賢人 (2-7) ベスト16  
平野 裕太 (2-3)・豊田 結人 (2-2) ベスト32  
藤本 勝純 (2-4)・平山 龍輝 (2-2) ベスト32  
(シングルス)  
横山 珠羽 (2-2)・平野 裕太 (2-3) 予選通過

### 写真

- 第5回全九州高等学校総合文化祭長崎大会写真部門  
九州高等学校文化連盟賞 佐藤 隼子 (2-5)  
大瀬 萌葉 (1-7)

### 吹奏楽

- 第48回長崎県アンサンブルコンテスト  
フルート三重奏  
金貴 (井手 音 (2-5)、高比良 俊 (2-5)、竹永 美等 (2-5))

### 放送

- 第5回全九州高等学校総合文化祭長崎大会放送部門  
第43回九州高校放送コンテスト  
アナウンス部門 準優勝 朝長 花咲 (2-5)  
優良賞 尾崎 美雨 (2-7)  
朗読部門 優良賞 黒川 綾吉 (2-3)

### 弁論

- 第5回全九州高等学校総合文化祭長崎大会弁論部門  
第71回九州高等学校弁論大会  
優秀賞 (第2位) 矢部小羽紅 (1-4)

## 大学入学共通テスト壮行式

1月15日(土)・16日(日)の大学入学共通テストに向けて、14日(金)に壮行式が開催されました。はじめに校長先生や進路主任・学年主任から激励のことが送られ、続いて1・2年生からの応援メッセージが贈呈されました。



また、3年1組大友君が決意表明を述べ、式の最後には、昨年3月に卒業した先輩方が作成した応援メッセージが流されました。

当日は、例年恒例の後輩による見送りにはコロナ感染予防のため中止になりましたが、3年生は緊張感をもって出発しました。

12月15日(水)3,4校時に会議室にて科学英語プレゼン研修会を実施しました。4月から取り組んでいる課題探究の成果をもとに英語ポスターを作成し、英語で説明し、英語表現スキルの向上を目的とした数理探究科ならではの企画です。講師として、外部からお招きした大学の教授をはじめとする講師5名から指導を受けました。今年度は12本のテーマ発表を、慣れない英語でしたが真剣に取り組みました。



## SSH 活動報告

### 県内 SSH 指定校合同生徒発表会開催!!

12月19日(日)、SSH指定の県内3校主催の合同生徒研究発表会を開催し、本校からは、理科部と数理探究科あわせて7グループ13名の生徒が参加しました。この発表会は、県内の高校生に発表の機会を広く提供し、生徒相互の交流を深めるとともに、科学技術に対する興味関心を高め、長崎県に生徒課題探究の文化を根付かせることを目的にしたものです。参加した生徒からは、「自分たちでは気づかないことに気づくことができたためになった」という感想が多く聞かれました。



### 奈良女子大学サイエンスコロキウムにて発表!!

12月19日(日)、標記コロキウムに、本校より5班15名の生徒が参加しました。これは「研究をともについでいこう」をテーマに、研究発表とワークショップから構成されるものです。参加した生徒は、全員はじめての対外発表ということでかなり緊張したようでしたが、徐々に硬さもとれ、日ごろの研究成果をきちんと発表することができました。

こんべいとうの角の謎	黒川 莉那・楠本菜々美・末永 海羽・菅根万都健
オオケンイギクの繁殖力	高橋茉莉花・金子 涼風・徳安 実莉
バングラデシュの知恵VS大高の夏	蓮广迫晴希・高原 愛・田中 小雪
長崎県小浜温泉および雲仙温泉の泉源付近に生息する細菌類とプラントクトン類について	栢本 紗弥・福田 結衣
オキヒラシノミガイの産卵期、幼生の発生過程について	戸島 葉月・矢田 樹・江頭 美樹



## 家政科も SSH !!

### 課題発見セミナー (2年家政科)

1月14日(金)、山口大学より陳内 秀樹 先生をお招きして、課題発見セミナーを開催しました。



### 繊維と染色の科学 (1年家政科)

12月6日(月)、活水女子大学より寺田 真子 先生をお招きし、「繊維と染色の科学」講座を開催しました。当日は、繊維と染色の理論を学んだ後、空想めに挑戦しました。どの生徒も上手に作品を完成させていました。



#### 生徒感想より

- 染まりやすさが染料によって違うのでSSHの活動でもっと深く探究したいと思った。
- 大村高校に来て、普段できない実験ができて嬉しいです。これからは活かしたいです。

## 2年生 修学旅行



12月7日(火)～12月10日(金)の3泊4日の旅程で、熊本県・鹿児島県への修学旅行に行きました。3つの研修に取り組みました。

①熊本城をモデルにして、熊本地震の被災から復興までを学ぶ防災学習

②班ごとに文化・歴史・食などテーマを絞りフィールドワークを行う探究取材活動

③「くまもと水プログラム」SDGsコース別研修

鹿児島市内における探究取材活動では、各班で事前調査した内容と現地で行った取材内容をレポートにまとめ、兩日本新聞社のご協力のもと新聞作成を行いました。その手法も含め、学びの多い研修となりました。

旅行期間中は、天候にも恵まれ、美味しいものを食べ、仲間と協力し合いながら過ごし、みんなの笑顔があふれていました。コロナ禍のため、東京方面からの行先変更となりましたが、今後の高校生活につながる修学旅行になりました。

## 育友会応援事業

1月27日(木)に予定されていたマラソン大会は、新型コロナウイルス感染予防のために中止となりましたが、育友会応援事業は実施され、生徒全員に原まん



コンスूप缶・キャラメルが配付されました。「コロナ禍の中でも、私達のために配慮してくださり、うれしかった。」と生徒も感想を述べていました。育友会の皆さま、どうもありがとうございます。

## 家政科 活動紹介

### 手話講座

12月9日(木)に家政科3年11名が大村市障がい福祉課主催の手話出前講座を受講しました。実際に聴覚に障がいのある先生から障がい者についての現状や挨拶の仕方など簡単な手話をわかりやすく教えていただきました。大村市は県内初の手話言語条例が施行された街です。将来、日常生活や職場でも気負うことなく手話で話せるように楽しく学びました。



### 高齢者との交流会

11月18日(木)に家政科3年11名と学校周辺の下久原地区のむつみ会の方々と、グラウンドゴルフを通じて交流を行いました。地域の高齢者の方々と触れ合う機会がない中で快く引き受けてくださり、ルールから丁寧に教えていただきながら試合形式で交流しました。高齢者の元気な姿を目の当たりにして生徒も楽しい時間を過ごすことができました。ホールインワンや珍プレーも出るなど笑いの絶えない2時間でした。



### 染色実習

12月8日(水)、家政科1年生は、やまぼうし工房の岩永由紀先生から染色について指導いただきました。藍染め液に浸す時間の違いで色の濃さが変わったり、布のたたみ方で柄に変化が出たりするのが、すごくおもしろかったです。先日は、SSHでも化学染料による染色を行いました。私は染色にとても興味があるので、3年生の課題研究でも取り組んでみたいと思いました。



1年8組 小山田 楓

### 製菓講習会

家政科3年生は、12月14日(火)に平岡調理製菓専門学校製菓衛生士の主任講師赤木先生においていただき、デコレーションケーキの作り方について指導していただきました。

ナッペ(生クリームの塗り方)やいろんな生クリームの絞り方など、基礎的な技術から高度なものまで丁寧に教えていただきました。自分なりのオリジナルケーキを作り上げることができ、貴重な体験になりました。



3年8組 桑原 望

### ながさき家庭教育講座

12月22日(水)、家政科2年生は、県教育庁生涯学習課の金丸直樹先生を講師として「ながさき家庭教育講座」を受講し、家庭教育の意義や子育てについて理解を深めました。

「過去の自分へのメッセージを書くことで、後悔が残らないよう今を一生懸命生きていきたいと思った。」「親の大変さやありがたさを深く考える機会になった。」「将来自分が親になったら、子どもに真似させてもいいような行動を心がけ、優しく時には厳しく愛情を持って接していきたい。そのために今高校生としてマナーを守るなど、しっかりとした大人になるよう努力したい。」などの感想がありました。

